

平成31年度下水道革新的技術実証事業等で実施する技術

実証技術	水位計と光ファイバー温度分布計測システムにAIを組合せた雨天時浸入水調査技術の実用化に関する実証事業
実施者	日本水工設計(株)、ペンタフ(株)、(有)ワイケー技研、(株)シュア・テクノ・ソリューション、(株)ベクトル総研、さいたま市、藤沢市
概要	AI を活用し、水位計による浸入水発生箇所の絞り込み技術や、光ファイバー温度分布計測システム(ラインスクリーニング)によるスパン単位以下での浸入水発生箇所の検出技術について実証する。

研究テーマ	FO 膜を用いた超省エネ型下水処理システムの開発
実施者	(一財)造水促進センター、北九州市立大学、長崎大学、水ing エンジニアリング(株)、日本水工設計(株)
概要	下水処理場の省エネ化と創エネ化を同時に実現するため、FO (正浸透) 膜処理による下水濃縮技術と嫌気性処理によるエネルギー回収技術を中心とした活性汚泥法を用いない新たな下水処理システムの実用化を目指す。

国土交通省発表ウェブページ：

平成31年度 下水道革新的技術実証事業 等として9技術を採択：

http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo13_hh_000410.html

平成31年度 B-DASHプロジェクト実証技術の概要等について：

http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewage/mizukokudo_sewage_tk_000633.html